

「生き物を守ろう」ポスターセッション
(説明係と見学係を交代)

() 組 なまえ _____

領域・形態・時間	話すこと [発表・やり取り] 4人グループ 台本づくり20分+セッション20分×2時間
ねらい	①生き物→②すみか→③こまっていること→④できること、の4文でグループのポスターを説明し、質問にも答える(単元ゴールの本番)。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Choose one animal.
グループで守りたい生き物を1つえらぶ
- 2 Fill in the four lines.
下の台本の () をうめる (ことばバンクから選んでよい)
- 3 Who says what? Write your name.
だれがどの文を言うか決めて、たんとうらんに名前を書く
- 4 Half stay, half walk!
グループの半分为ポスターの前に残って説明係、あとの半分は見学係になって他のグループを回る
- 5 Change! Now you walk.
合図で交代。説明係と見学係を入れかわる (7分×2回)

ポスターの台本 この順に言えば、それだけで発表になる

じゅんばん	言うことば (() をうめよう)	たんとう
はじめ	Hello! Look at our poster.	
①生き物	We like () .	
②すみか	They live in () .	
③こまっていること	() is a big problem.	
④できること	We can () .	
おわり	Let's save the () ! Thank you!	

ことばバンク () に入れることば (絵カードのことばも使えるよ)

①生き物	sea turtles / whales / penguins / salmon / pandas / koalas / elephants / deer
②すみか	the sea / the river / the forest / the mountains
③こまっていること	Plastic / Garbage / Plastic bags / Hot weather (プラスチック/ごみ/レジぶくろ/暑さ)

④できること

use eco bags / recycle / pick up trash / plant trees / save water

見学メモ ほかのグループで「いいね」と思ったことを2つ（日本語でOK）

グループ（生き物）	いいね！と思ったこと

見学係のことば：Wow! / Nice poster!（相づち）／ Where do they live?（すみかを聞く）／ What can we do?（できることを聞く）／ Good idea!（いいね）／ Thank you!

ルール

①1人1文以上をたんとする（4人なら台本の6行を分け合う） ②ポスターを指しながら言う ③見学係はかならず質問を1つする——質問が返ってきて発表は完成 ④「ダメ!」ではなく「いっしょにやろう」の言い方でポスターを作る

☆レベルアップ! ④のできることをもう1つふやして2文に挑戦（We can recycle. We can pick up trash.）。全員が台本を見ないで言えたグループは「いきものレンジャー」。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・第5時に台本と役わり、第6・7時でセッション——作る日と発表する日を分けるのが時数リアリズム（1時間に詰めると必ず崩壊する）
- ・全体の前で1グループずつ発表するより、「半分残る・半分回る」のほうが話す量が倍になる。合図（タンバリン）で交代、7分×2回が目安
- ・◎第5時の見取り（知技）は台本の（ ）の中で。すみかが合っているか、We canのあとが動きのことばになっているか（写してOK）
- ・中間指導は「質問に答えられたグループ」を1つだけ全体へ。答えは1語でもよいと示すと、2回目の質問が急に増える

中間指導の進行台本（第6時）

この紙は先生用（1部だけ）：主活動の20分を「1回目 → ことばの補給 → 2回目」のサンドイッチにする先生用の台本。1回目でできなかった質問を、同じ20分のうちに「できた」に変える——時間は1分も足さない。

20分のサンドイッチ 第6時の主活動20分＝ポスターセッション①を「サンドイッチ」にする

分	やること	先生のうごき
0-7	セッション1回目（半分残る・半分回る）	見学係は質問を1つ。先生は「質問できずに帰ってきた子」を見つけておく
7-9	あつめる：聞きたかったこと・こまった質問	「日本語でOK」と先に宣言する。見学係と説明係の両方から集める（3～4個で十分）
9-12	英語にする：下の補給表から黑板へ	近いものを書き写し、全員で2回ずつ声に出す。「答えられた班」も1つ取り上げる（答えは1語でよい）
12-13	自分の質問にもどす	2回目にする質問を1つ決めて、となりに1回言えたら準備完了
13-20	セッション2回目（説明係と見学係を交代）	「質問が返ってきて発表は完成」をもう一度言ってから始める。2回目は質問が必ず増える

ことばの補給表 「言いたかった」を、ここから黑板に書き写すだけ

言いたかったこと	こう言える	ひとこと
どうして（問題なの）？	Why?	1語でいい。見学係の質問の王様
（Why? と聞かれたら）	... is a big problem.	③の文をゆっくりもう一度＝それが答え（because は使わない）
うちの班の生き物も同じ！	Sea turtles, too!	「～, too.」は Me, too. の仲間
この絵はなに？	What's this?	指させば、説明係も指さして返せる
それ、知らなかった！	Oh, really? / Wow!	相づち1つで発表者は元気になる
もう一回言って	One more time, please.	聞き返しははずかしくない——道具
ゆっくり言って	Slowly, please.	「～, please.」は何にでも使える
いいね、いっしょにやろう！	Good idea! Let's save the sea turtles!	おわりの文は見学係が言ってもいい

表にないことばが出たら
「ぜつめつ」「温だん化」のような理科のことばは無理に英語にしない。「日本語で言ってから、ポスターの絵を指そう」と返す——まちがった英語をその場で作らないことがいちばん大事。次の時間に正しい形で持ってくればよい。

先生へ（この20分の勘どころ）
・この20分は主活動そのもの——新しい時間は1分も足さない。第7時のセッション②も、この台本と同じ進行で回せる
・はやく言えた子には記録役：班にきた質問を正の字でかぞえ、途中で「いちばん多かった質問」を発表してもらう。先生役は頼まない——本人の練習の機会を奪う
・補給は「質問のことば」に寄せる——2回目が伸びるかは見学係の質問の数で決まる（説明の文は、もうポスターにある）
・深い議論に入りそうになったら理科へ預ける。ここで喜ぶのは「英語の質問が1つ増えた」こと